

市議会だより



大室山

発行 伊東市議会 議長 鳥居 康子
編集 議会報編集委員会
伊東市議会事務局
電話32-1981(直通)FAX38-6916



伊豆半島ジオパーク

～伊東エリアには15のジオサイトがあります～ **その8**

池の田園風景と矢筈山(中央の山)

表紙は「いとう」の文字に大室山・小室山を配し、図案化したものです。
つばきは伊東市の花木で、昭和42年8月10日、市制施行20周年を記念し、市民から公募して制定されました。

小室山

主な内容

- 9月定例会の概要……………【P.2】
- 決算大綱質疑……………【P.5】
- 一般質問(10議員が登壇)……………【P.8】
- 常任・特別委員会……………【P.12】

市議会会議録は、市役所、図書館、
各コミュニティセンターや、
ホームページでごらんいただけます。
(9月定例会会議録は、11月下旬
発行・公開の予定です)

平成26年9月定例会

平成25年度

一般会計・特別会計・企業会計決算を認定

9月定例会を8月29日から9月26日までの29日間の会期で開会しました。

平成25年度

市長決算概要説明（要旨）

平成二五年度一般会計当初予算は、財政健全化に向けた取り組みを着実に進めつつ、市民と行政が協働し知恵を出し合い、未来を見据えたまちづくりを進めるため、将来像の実現を目指した経営方針を『伊東創造』から『未来協知』へ高め、各種施策の展開を念頭に、前年度を九・一％上回る積極型の予算を編成しました。

その後、緊急地震・津波対策基金積立事業のほか、本市独自の地域経済活性化対策など四回にわたる補正を行い、最終予算規模を二八〇億一八八二万二〇〇〇円としました。

歳入決算では、自主財源に大きな比重を占める市税が対前年度比〇・一％の増、繰入金が大幅な減となる中、決算額は二六三億四三八一万三〇〇〇円で、対前年度比〇・二％の増となりました。

歳出決算では、経常経費

における公債費が二・一％減少したものの、人件費が四・五％、扶助費が二・四％前年度に比べ増加し、決算額は二五五億七一〇一万円で、執行率九一・三％、対前年度比〇・二％の増となりました。

なお、歳入歳出差引額は七億七二八〇万三〇〇〇円で、翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いた実質収支額は、前年度を三・二％下回る六億九六一二万一〇〇〇円となりました。

懸案事業として、環境美化センター更新改良整備事業につきましては、焼却炉の二基のうち一基は平成二五年一〇月から本格稼働を開始し、残る一基は平成二六年六月に火入れ式を執行するなど、計画どおり平成二六年度中の完了を目指して事業を進めています。

学校施設等の耐震化事業につきましては、西小学校屋内運動場の改築工事に向

平成25年度 一般会計・特別会計・企業会計決算

◎全会一致で認定 ○賛成多数で認定

会計別		歳 入		歳 出		審議 結果
		決算額(円)	収入率 (%)	決算額(円)	執行率 (%)	
一 般 会 計		26,343,813,481	94.02	25,571,010,226	91.26	◎
特 別 会 計	下 水 道 事 業	1,955,045,749	98.68	1,939,153,105	97.88	◎
	競 輪 事 業	14,880,284,969	96.70	14,968,981,764	97.27	◎
	国民健康保険事業	11,515,806,674	101.00	11,070,752,297	97.10	◎
	土 地 取 得	118,864	0.34	30,718	0.09	○
	霊 園 事 業	59,862,581	99.38	59,756,839	99.20	◎
	介護保険事業	6,579,066,117	97.08	6,578,012,505	97.07	◎
	介護老人保健施設	85,732,559	100.04	85,523,562	99.79	◎
	後期高齢者医療	1,594,137,590	99.45	1,578,628,247	98.48	◎
合 計		63,013,868,584	96.42	61,851,849,263	94.65	—

会 計 別 \ 区 分			収 入		支 出		審 議 結 果
			決算額(円)	収入率 (%)	決算額(円)	執行率 (%)	
企 業 会 計	病院事業	収益勘定	355,693,170	100.17	533,008,569	99.57	◎
		資本勘定	59,095,000	100.00	285,402,235	100.00	
	水道事業	収益勘定	1,595,878,441	101.35	1,439,785,319	97.25	◎
		資本勘定	428,168,549	98.75	1,020,494,647	95.68	

け、耐力度調査と改築設計の実施や本体工事の着手等、平成二七年二月の竣工を目指すして事業を進めています。また、世界ジオパーク認定を目標にジオサイトの整備事業の実施、住宅リフォーム振興補助事業等や商店街への助成、地元業者に小規模修繕工事等を幅広く発注するなど、本市独自の切れ目のない緊急経済雇用対策により、市内経済の活性化にも努めました。

本市の財政は、サマレビューによる事務事業の見直しなどさまざまな改革への取り組みにより、適正とされる規模の黒字を確保するとともに、財政調整基金や減債基金への計画的な積み立てなど財源確保に一定の前進が図られており、健全化判断比率や実質収支比率などの財政指標からも、確実に健全化の方向へ向かっているものと判断しています。

本会議で 行つた討論 (概要)

■伊東市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例

■伊東市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例

《反対》重岡秀子議員

本条例案二件は、子ども・子育て関連三法に基づき制定されるものであるが、入所に当たっては、認定子ども園、家庭的保育事業等は、保護者と施設が直接契約することとなり、自治体の保育責任の希薄化が懸念される。

以上の保育施設は現在伊東市には存在しないが、認定こども園は今後検討する意向も答弁された。また、家庭的保育事業などは国基準のままで、保育に格差が生まれ、安全性にも問題があると考え、反対する。

■伊東市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例

《賛成》重岡秀子議員

本条例案は、放課後児童クラブに関し、市町村が条例において最低基準を定めることとなり、制定するに至ったもので、これは質の向上という点で、一步前進したものと考え、賛成する。

なお、保育時間や保育士の資格などにもう少し厳しい基準の設定も必要かと考えるが、国の最低基準すら満たしていないクラブが、市内には存在している実態に鑑み、最低基準を満たすと同時に待機児も解消していくよう、公の支援が先決であると考え。

■伊東市駐車場条例の一部を改正する条例

《賛成》重岡秀子議員

伊東駅前駐車場は、観光客だけでなく、伊東駅を起点にして遠出する市民にも大変便利な駐車場であるが、これまでは上限設定がないことから、長時間の使用はしにくいとの声があった。

今回、一回の利用につき二四時間ごとの上限額を一五〇〇円に設定したことは

評価するが、設定額がやや高いと考える。

条例施行後数カ月間の利用状況を検証し、民業を圧迫しない金額で、市民サービスにもつながる料金設定への検討をお願いしたい。



平成25年度 一般会計決算案起立採決

■平成二五年度伊東市一般会計歳入歳出決算

《賛成》正風改革クラブ

市長経営方針である「未来協知」の実践に基づき、本市独自の緊急経済対策を初めとした各種施策を展開したことを評価する。歳入においては市税収入における収入未済額の徴収を積極的にを行い、税負担の公平性

を堅持することは行政の重要な課題であり、これまでに以上の取り組みを要望する。

今後は、中学校給食の完全実施等各種施策をさらに発展させ、活力ある地域社会づくりの施策と市民の福祉向上に全力での取り組みをお願いし、賛成する。

《賛成》公明党

自主財源として大きな比重を占める市税が若干増収となる中、世界ジオパーク認定を目標にしたジオサイト整備事業や、小規模修繕工事等により切れ目のない緊急経済雇用対策を実施することで市内経済の活性化を図っている。

さらに、財政調整基金及び減債基金への計画的な積み立てなど、財源確保にも一定の前進が見られたものと評価する。

今後、「未来協知」の確実な進展に向け、さらなる努力をお願いし、賛成する。

《賛成》森篤議員

平成二五年度予算において、市長が言う「未来協知」に理念、哲学がないと

して反対したところであるが、既に可決された予算としてその執行状況は、幾つかの財政指標が良好に推移していると判断する。

なお、今後も「未来協知」を本市における自治体経営の大きな柱と位置づけるのであれば、市民の皆さんや職員の一層の意識の深化と合わせて、条例等による仕組みの構築の検討が必要ではないかと考える。

《賛成》重岡秀子議員

自主財源が前年度比九・二％も減収する中、国・県の補助金等を活用して財源の確保を図り、特に、市民の暮らしや健康を守る事業、いとう創造大賞で受賞された事業の速やかな予算化、商店街活性化事業において市民との協働が図られたことなどは評価し、賛成する。

一方、産業振興策には市民の知恵と力を借りながら全力で取り組むべきである。また次期予算編成時には、さらに市民生活の実態把握に努め、市民要求を精査し反映させることを要望する。

■平成二五年度伊東市土地
取得特別会計歳入歳出決
算

《反対》森篤議員

保代口宅地分譲地について、残り一〇区画のうち四区画は、売却の見込みありとして補正予算に計上されたが、結果売却できずに未執行のまま決算となった。売却に至らなかった事情は、新たに惹起されたものではなく、これまでも課題として認識されてきた事情であることから、未執行の責任は当局にあり、誠に遺憾であるとして反対する。

なお、売れ残り地の処分は、自治体の土地開発に係る重要な問題として認識されるべきであると考える。

《賛成》重岡秀子議員

平成二六年三月議会において保代口分譲地の四区画が売却のめどが立ったとする補正予算の計上は、長年の懸案事項の解決に向けた努力として評価していた。結果的には先に土地を購入した住民の理解が得られず、売却できなかった経過

は理解するが、土地が再び放置されることは市民にとっても不利益である。売却の収入は市民のものであることも訴え、粘り強く理解を求めるとともに、売却の方法を今後も検討されることを要望しつつ、賛成する。

■平成二五年度伊東市病院
事業会計決算

《賛成》伊東元気の会

伊東市民病院の平成二五年四月にさかのぼる検体検査管理加算の返還に関し、病院経営には大きな影響を及ぼさない旨が説明されたが、単年度の事業会計決算にとどまらず、病院経営の根幹を揺るがす大きな問題に発展する可能性をも有していたものと考える。

今後、なぜこのようなことが起きたか等の再検証や病院との連携についての再確認をしていただくとともに、しっかりと市民の信頼回復に努めていただくことを要望しつつ、賛成する。



平成26年9月定例会で審議した議案等

37件の議案等を審議、決定

議案番号	件 名	概 要	提出者	審議結果
市報第2号	平成25年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	地方公共団体の財政の健全化に関する法律第3条第1項及び第22条第1項の規定に基づき、①実質赤字比率、②連結実質赤字比率、③実質公債費比率、④将来負担比率の「健全化判断比率」の報告及び病院事業会計、水道事業会計、下水道事業特別会計について「資金不足比率」の報告	市長	(報告、質疑のみ)
市議第9号	伊東市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準について、子ども・子育て支援法の規定により省令で定める基準に従い、または、参酌して、市条例で定めることとされたことによる制定	市長	賛成多数で可決
市議第10号	伊東市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例	家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準について、児童福祉法の規定により省令で定める基準に従い、または、参酌して、市条例で定めることとされたことによる制定	市長	賛成多数で可決
市議第11号	伊東市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例	放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準について、児童福祉法の規定により省令で定める基準に従い、または、参酌して、市条例で定めることとされたことによる制定	市長	全会一致で可決
市議第12号	伊東市駐車場条例の一部を改正する条例	伊東駅前駐車場について、1回の利用における24時間ごとの最高限度額を1,500円と定めるための条例改正	市長	全会一致で可決
市議第13号	伊東市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	引用法律名を改正するとともに、一部改正法の施行時に現に支援給付を受けている配偶者で、改正後の特定配偶者に該当しないものに対する経過措置を設けるための条例改正	市長	全会一致で可決
市議第14号	平成25年度伊東市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	地方公営企業法の規定に基づく議決	市長	全会一致で可決
市議第15号	平成26年度伊東市一般会計補正予算（第2号）	市内の経済状況を勘案して住宅リフォーム振興事業補助金や公共施設の小規模修繕を中心とした緊急経済雇用対策事業などの計上、学校給食センターの建設に向けた各種工事請負費等の追加、個人番号制度に対応するための社会保障関係システムの改修経費の計上、財政調整基金や減債基金への積み立てなど6億5,656万9,000円の追加	市長	全会一致で可決

議案番号	件 名	概 要	提出者	審議結果
市議第16号	平成26年度伊東市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	一般被保険者療養給付費などの増額、精算による前年度分の国庫支出金返還金の計上など3億140万7,000円の追加	市長	全会一致で可決
市議第17号	平成26年度伊東市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）	保険給付支払準備基金積立金のほか、介護予防事業等に係る国庫支出金等の返還金の計上や、一般会計繰入金を充当し、個人番号制度に対応するために介護保険システムの改修委託料の計上など2,100万4,000円の追加	市長	全会一致で可決
市議第18号	平成26年度伊東市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	一般会計繰入金を充当し、個人番号制度に対応するために後期高齢者医療システムの改修経費の計上など150万円の追加	市長	全会一致で可決
市認第5号 ～ 市認第15号 市選第1号	平成25年度伊東市一般会計歳入歳出決算、以下。8特別会計歳入歳出決算と2企業会計決算 監査委員選任の同意について	※2ページをご覧ください。	市長	※2ページをご覧ください。
発議第8号	地震財特法の延長に関する意見書	宮崎雅薫議員（議員のうちから選任する委員） 内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、文部科学大臣、厚生労働大臣、農林水産大臣、国土交通大臣、内閣府特命担当大臣（防災）、水産庁長官、林野庁長官、消防庁長官、衆議院議長及び参議院議長に提出	市長 議員7名	賛成多数で同意 全会一致で可決
発議第9号	奨学金制度の充実を求める意見書	内閣総理大臣、財務大臣、文部科学大臣、衆議院議長及び参議院議長に提出	議員7名	全会一致で可決
発議第10号	「危険ドラッグ（脱法ハーブ）」の根絶に向けた総合的な対策の強化を求める意見書	内閣総理大臣、総務大臣、文部科学大臣、厚生労働大臣、国家公安委員会委員長、衆議院議長及び参議院議長に提出	議員7名	全会一致で可決
発議第11号	産後ケア体制の支援強化を求める意見書	内閣総理大臣、厚生労働大臣、衆議院議長及び参議院議長に提出	議員7名	全会一致で可決
発議第12号	魅力ある地方都市の構築へ向けた施策の推進を求める意見書	内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、厚生労働大臣、経済産業大臣、衆議院議長及び参議院議長に提出	議員7名	全会一致で可決
発議第13号	災害時多目的船の導入を求める意見書	内閣総理大臣、厚生労働大臣、国土交通大臣、内閣府特命担当大臣（防災）、防衛大臣、衆議院議長及び参議院議長に提出	議員7名	全会一致で可決
発議第14号	軽度外傷性脳損傷に係る周知及び適切な労災認定に向けた取り組みの推進を求める意見書	内閣総理大臣、文部科学大臣、厚生労働大臣、衆議院議長及び参議院議長に提出	議員7名	全会一致で可決
発議第15号	議長辞職願について	西島彰議長の辞職	議長	賛成多数で許可
発議第16号	副議長辞職願について	佐々木清副議長の辞職	議長	賛成多数で許可
発選第3号	議長選挙	有効投票17票のうち、鳥居康子議員15票、森篤議員2票で、鳥居康子議員が当選	議長	—
発選第4号	副議長選挙	有効投票17票のうち、井戸清司議員15票、森篤議員2票で、井戸清司議員が当選	議長	—
発選第5号	常任委員会委員の所属変更について	※11ページをご覧ください。	議長	全会一致で可決
発選第6号	議会運営委員会委員の補欠選任について	※11ページをご覧ください。	議長	全会一致で選任
発選第7号	議会改革特別委員会委員の補欠選任について	※11ページをご覧ください。	議長	全会一致で選任

決算大綱質疑

全会派及び会派に所属していない2議員が質疑
／決算概要説明及び各会計決算に係る議案について

（所属議員の人数に応じて質疑順に掲載）

◎＝会派代表者、会派構成議員は議席順。質疑された議員は、太字・網かけ

■正風改革クラブ

・浜田修一郎議員・榎本元彦議員
・佐山正議員・井戸清司議員
◎佐々木清議員・西島彰議員
・宮崎雅薫議員・土屋進議員

（宮崎雅薫議員）

市長施政方針である「未来協知」に基づく各種施策の展開を念頭に置き、市内経済の再生を目指して編成された平成二五年度予算に関し、歳入予算の執行状況並びに財政状況及び財政構造について以下二点伺う

- 一 一般会計における収入率、不納欠損額及び滞納市税の徴収の状況について
- 二 財政力指数や市債残額の推移、自主財源や性質別経費の見通しについて
- 一 積極的な徴収に努めた引き続き人件費比率の削減に努めていきたい

市長

市税の収入率は、対予算現額九九・八％、対調定額

八〇・三％となり、不納欠損額は、破産・倒産などを要因として四億三〇三一万円となっている。

滞納市税の徴収には、納税相談の実施や、必要に応じて分納等による積極的な徴収を行っており、さらに徴収困難な事案には、静岡地方税滞納整理機構に移管するなど、滞納額の圧縮に努めるとともに、初期滞納者に対する納付勧奨や臨戸徴収を実施している。

また、財政力指数は、基準財政収入額の減額を要因として低下するとともに、市債残額は八年ぶりに増加しており、平成二八年度までは増加すると見込んでいる。

自主財源については、安定的な財政運営には重要であると考えている。

性質別経費のうち人件費比率については、県下平均類似団体平均とも上回っていることから、計画に沿って、引き続き、人件費の削減に努めていきたい。

『その他の質疑』

■観光業、中小小売業及び建設関連業の活性化策ほか一四項目

(井戸清司議員)

一 庁舎維持管理事業における節電効果による影響額について伺う
二 財政調整基金及び減債基金の運用状況と考え方について伺う

平成二五年度は光熱水費の値上げによる影響が大きかったのではないかと推察するが、光熱水費の推移について伺う。

また、財政調整基金については効果的な積み立てや緊急経済対策に充当するための取り崩し等積極的な運用がされているものと推察するが、減債基金とあわせて、これまでの運用状況と今後の運用に関する考え方について伺う。

一 使用電力は平成一六年度比約二九％の減となっている

二 財政調整基金は一応の

水準を確保したものと判断している

市長

庁舎維持管理事業については、市長就任以来徹底した経費の節減に努める中、特に節電対策に力を入れて実施したことにより、使用電力については対平成一六年度比の約二九％の減、原油高騰などの社会情勢の影響を受けつつも金額では八〇万円の減、ガス料金との合算では約二九一万円の削減となっている。

財政調整基金は、一応の水準は確保したものと判断しているが、今後、公債費において、環境美化センター更新改良整備事業に係る元利償還金に加え、学校給食センター等の大型事業の財源として借入れを見込んでおり、平成三二年度から一億八〇〇万円程度の元利償還金が追加されることを念頭に入れ、両基金を管理していく。

『その他の質疑』二七項目

■輝21

・稲葉正仁議員・稲葉富士憲議員
◎三枝誠次議員

時効を迎えた債権の処理について伺う

下水道事業特別会計における貸付金元利収入の収入未済額が七年連続同額であり、一般会計においても住宅使用料や災害援護資金貸付金元利収入などの収入未済額が増加している状況を踏まえ、時効を迎えた債権については、速やかに不納欠損処理を進める必要があると考えるが、市長の考えを伺う。

債権管理の方策について法的根拠を整理し、条例制定等を検討していく

市長

下水道事業特別会計における貸付金元利収入は、私法上の原因による私的債権であり、その消滅には、時効の援用や債権放棄が必要とされている。

時効となった私的債権の処理に関し、監査委員から適切に処理するよう指摘されるとともに、債権管理のあり方に関心が高まっていることから、管理している債権ごとに、法的根拠や時効期間等を整理し、債権管理に関する取り組みを効率的に進めていく基礎資料をとりまとめたところである。

今後は、先進事例等も参考にしながら、債権管理の適正化のための方策について、条例制定等も含め、検討する。

『その他の質疑』二二項目

■公明党

・鳥居康子議員・長沢 正議員
◎楠田一男議員

「いとう8K」の視点から、経済対策について成果及び評価を伺う

健全財政の維持を図りながら、市内経済の再生を目指した平成二五年度の予算執行について、「いとう8K」健康、子育て支援、危

機管理、環境、教育、観光、経済対策、改革の視点から、経済対策について、成果及び評価について伺う。

多くの業者に対し、切れ目なく工事等を発注することができ、一定の景気下支えの効果があつたと判断している

市長

住宅リフォーム振興事業では、消費税増税に伴う駆け込み需要に対応した増額補正を行うことで、多くの市民に利用され、市内建築関連業の振興及び市内経済の活性化につながつたと認識している。

店舗リフォーム振興事業では、補助対象を拡充し、利用者が二一件と、市の助成件数が昨年の約二倍に増加した。

また、緊急経済雇用対策事業では、二四〇件、九九七八万円の小規模修繕等を市内八二業者に発注した。

数多くの業者に対し、切れ目なく工事等を発注できたことから、市内経済の一定の景気下支え効果があつ

たものと判断している。

『その他の質疑』 三項目

■民主党・刷新の会

・四宮和彦議員◎鈴木克政議員
・浅田良弘議員

市有建築物の耐震化計画について伺う

西小学校屋内運動場が完成すると、小・中学校における国基準耐震化率では一〇〇％となるが、県の耐震基準は国の耐震基準に比べ約二割程度高い基準であり、また、幼稚園を含む幾つかの市有施設で耐震化が必要なことから、市有建築物の耐震化計画について伺う。

緊急性、利用者の安全等を考慮する中で、耐震化を図っていく

市長

本市では、災害時に拠点となる学校、病院、市役所等の公共建築物について、耐震診断実施状況や実施結果をもとにした耐震性能にかかわるリストを作成し、

公表している。

耐震性能が不足する市有建築物は、計画的に耐震化を進めるため、耐震化の実施方法等を定めた耐震計画を策定しており、四三棟が耐震化計画建築物となっている。また、耐震化が必要な幼稚園、保育園は、今後の園児数の推移や保育園、幼稚園の適正配置、認定子ども園などの検討も視野に入れながら、対応を図っていききたい。

さらに、その他の市有施設についても、緊急性、利用者の安全等を考慮する中で、耐震化を図っていく。

『その他の質疑』 三項目

■伊東元気の会

・横沢 勇議員◎杉本一彦議員

ふるさと納税の状況について伺う

ふるさと納税について、全国的な状況も踏まえ、官民協働により知恵を出し合い、充実を図るべきであると考えている。

そこで、本市における実績と、寄附をいただいた方への対応について伺う。

これまで一五〇〇万円を超える寄附金が寄せられており、寄附者にお礼状を送付している

市長

平成二〇年度以来、一五〇〇万円を超える寄附金が寄せられており、昨年度は、市立保育園管理運営事業や病院事業会計繰出金、観光施設維持管理事業、中学校管理事業に充当した。

なお、寄附をいただいた方に対してはお礼状を送付している。

『その他の質疑』 五項目

森 篤議員

(会派に所属していない)

平成二五年度予算において市長が所信表明した学校教職員の健康管理に関し、教職員の健康の保持増進がどのように改善されたか、また、今後の見通しを伺う

教育長

指定年齢健診や事務負担の軽減化に取り組むとともに、今後においても労働時間の適正な把握に努め、個々への対応・支援に重点を置くことが必要であると考えている。

『その他の質疑』 四項目

重岡秀子議員

(会派に所属していない)

都市計画税の使途及び市内全域を課税対象としていることについての見解を伺う

市長

本市の場合、都市計画街路、都市公園、下水道、都市下水路、環境美化センター、クリーンセンター、斎場を用途先とし、市全域が都市計画区域であることから課税するものであり、都市計画事業を推進する上で、貴重な財源であると考えている。

『その他の質疑』 四項目

一 般 質 問

10議員が登壇/市政全般について質問

(登壇順に掲載)

津波避難協力ビルを自然災害全般に対応できるようにしてはいいかがか



正風改革クラブ
土屋 進 議員

異常気象により自然災害が多発している昨今の事態を踏まえ、積極的に指定を進めている津波避難協力ビルについて、所有者の理解をいただく中で、人命第一の観点から自然災害全般における一時避難や緊急避難にも対応できるようにすべきと考えるが、いかがか。

避難所開設のタイミング等を調整する中で検討したい

市長

水害時における緊急避難場所としての活用に関しては、避難所開設のタイミング等を調整する中で検討していきたい。

なお、現在三一施設を指定しているが、今後におい

ても、地域の要望に基づき所有者の理解を得て随時指定をふやしていきたい。
『その他の質問』

■藤の広場隣接地の公有化
■観光トイレの整備



津波避難協力ビル表示

小・中学校における夏の暑さ対策について伺う



輝21
稲葉富士憲 議員

近年、夏の暑さが厳しさを増す中、小・中学校における暑い教室での授業は、学習状況にどのような影響を与えているか伺う。

また、暑さ対策及びエア

コン設置に係る考えを伺う。

水分補給や戸外活動の制限等、健康管理に留意しつつ授業等を進めている

市長・教育長

厳しい教室環境であることは認識しており、授業に集中しにくく、学習効率も上がらない場合があると考えている。また、熱中症対策として、換気を心がけ、水筒等の持参により適宜水分補給に努めさせるとともに、暑さの状況に応じて戸外での活動を制限するなどの対策を講じている。

エアコンの設置については状況を見きわめながら必要に応じて検討していく。

『その他の質問』 五項目



教室（東小）

市民ロビーでウェディング事業を実施してはいいかがか



公明党
楠田 一男 議員

本市庁舎の市民ロビーは、広く市民に開放され親しまれているが、以前、市制施行五〇周年記念事業として、市民ロビーでとり行われた結婚式を、新たなウェディング事業として実施できないか伺う。

ウェディング事業も含め、市民に開かれた庁舎の活用を調査研究し、有効活用を検討したい

市長

市制施行五〇周年を記念した各種行事の一つとして、ブライダル事業が行われ、夢のある事業であったと理解している。

全国的にも結婚式としての活用例はそれほど多くな

いが、ウェディング事業も含め、市民に開かれた庁舎の利活用事例を調査研究し、実施可能な有効活用を検討していきたい。

『その他の質問』 二項目



市役所ウェディング
(伊東市制施行50周年事業平成9年10月19日)

設計が進められている学校給食センターの運営方法について伺う



正風改革クラブ
榎本元彦議員

今月三日から宇佐美中の学校給食が開始され、本市の中学校給食も残すところ南中、北中、対島中の三校となった。中学校給食の完全実施に向け、現在、給食

センターの設計を進めているが、運営の開始時期及び対象校について伺う。

三中学校に加え周辺の五小
学校を対象とし、平成二
年二学期から稼働したい

市長

南中敷地内に建設予定の給食センターについては、一日最大三〇〇〇食の調理能力を持たせ、当初は三中学校を対象に始め、将来的に小学校を取り込んでいく計画であったが、センター開始と同時に、配送校を拡大する方向で進めている。対象校は、三中学校に加え、周辺の五小学校の計八校とし、約三〇〇〇食の提供を平成二八年二学期から稼働していきたい。

『その他の質問』 四項目



学校給食センター建設予定地
(南中学校旧技術科棟)

電子行政オープンデータ
推進と公共交通政策への
利活用について伺う



民主党・刷新の会
四宮和彦議員

オープンデータの公共交通政策への利活用は、公共交通の利用促進策として有効であると考えますが、前提となるオープンデータの推進状況と利活用の可能性をどのように考えるか伺う。

市長

オープンデータは、行政が保有するデータを積極的に公開し、そのデータを利用することで新たなサービス・産業の創出等社会経済の発展に寄与することが期待されているが、現状では、幅広い分野で利用される状況には至っていない。

また、公共交通政策にも利活用できる可能性を有するものと考えますが、本市における路線バスへの導入は、導入費用や費用対効果を考慮すると、現状では、難しいものと判断している。

『その他の質問』 六項目



オープンデータの活用例
(鯖江市コミュニティバスの運行情報表示)

伊東線四駅の無人化が実施された場合に本市が受ける影響とその対策について



正風改革クラブ
佐山 正議員

JR東日本が伊東線四駅の無人化を検討していることから、駅員不在に伴うサービスの低下や観光への影響が懸念されている。防犯及び青少年健全育成

の観点からも、早急に対策を立てるべきと考えますが、本市の考えを伺う。

周知の徹底、防犯対策など
今後もJR東日本に対して
強く要望をしていく

市長

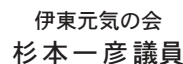
無人化により、安全面、防犯面、サービス面、駅舎の維持管理などに影響が及ぶと考えている。

不安や混乱を避けるため、周知の徹底や、サービス低下を防ぐための対策、無賃乗車等の防犯対策等の強化が必要と考えており、JR東日本に対して要望をしたところである。

『その他の質問』 五項目



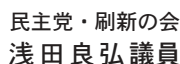
無人化が検討されているJR伊東線宇佐美駅



常勤医師の解釈に相違があったため加算との差額分を返還する手続を行う

本年七月、東海北陸厚生局から検体検査管理加算の施設基準である臨床検査を担当する医師の勤務状況に係る照会があり、常勤の解釈に相違があつたため、平成二五年四月に遡及して自主的に施設基準「検体検査

伊東市民病院



近年、台風や異常気象等により、突発的で想定を上回る自然災害による被害が各地で頻繁に起きている。

こうした災害を教訓として、本市の防災対策のうち、

要援護者は、広域避難場所への避難を第一に、その後、個々に応じて、医療機関等への移行を考えている。また、名簿は、支援者への情報提供について同意の上で作成されており、今後は、地域ごとに名簿を保管していただき、災害時には支援者が情報を共有し、安否確認を初め、医療機関への通報等支援に資するための活用を検討していく。

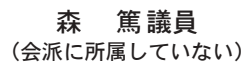
『その他の質問』一〇項目

『その他の質問』一〇項目

[illegible]

災害時要援護者登録届
(広報いとう平成26年2月号に掲載)

将来人口の推計を踏まえた諸構造の転換について



直近の推計では、二〇三〇年には、本市の人口は六万五〇〇〇人台になるとされていることから、自治体経営を充実させるために目標人口七万人を下方に設定し、現時点から本市の諸構造を転換していくことを検討すべきと考えるが、市長の考えを伺う。

総合計画の目標人口である
七万人を維持するため施策
を展開していく

第四次伊東市総合計画の最終年である平成三二年には、人口約六万七〇〇〇人になると推計している。

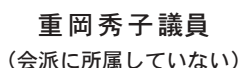
次期基本計画の策定に当たっては、人口減少の状況に留意しつつ、「いとう8

区」を軸とした各種施策を推進することにより本市の魅力を高め、目標人口である七万人の維持に努める。

『その他の質問』 三項目

『その他の質問』
三項目

観光戦略はどのような
で、練られているのか



観光客実態調査などのデータやさまざまな観光情報を生かした観光戦略を誰が、どのような組織で行うかが、伊東市の観光・産業振興の重要な要ではないだろうか。全国の多くの観光協会や



伊東市観光課（市役所庁舎4階）

観光課職員がイベントの作業などに追われ、観光戦略を考える仕事に力を注がない現状があると聞くが、本市ではどのような体制であるのか伺う。

市長や副市長との協議を重ねる中で、本市の基本的な観光戦略を決定している

市長

本市の観光政策の立案については、市内の観光関連団体との情報交換や調査結果をもとに観光課で素案を策定し、私や副市長との協議を重ねる中で、本市の基本的な観光戦略やその推進方針を決定している。

『その他の質問』 五項目

●九月二六日
会派代表者の異動

正風改革クラブは、宮崎雅薫議員から佐々木清議員に、会派代表者を変更しました。

議会内の異動



第66代副議長
井戸清司議員



第71代議長
鳥居康子議員

正副議長から辞職願が提出されたことに伴い、九月二六日の最終本会議において選挙を行い、議長に鳥居康子議員、副議長に井戸清司議員を選出しました。

正副議長の選挙

正副議長の選挙に伴う新委員会構成

常任総務委員会 ■委員長 稲葉富士憲（輝） ■副委員長 浜田修一郎（正）
■委員 宮崎雅薫（正）西島 彰（正）四宮和彦（民）重岡秀子（無）森 篤（無）

常任観光建設委員会 ■委員長 榎本元彦（正） ■副委員長 長沢 正（公）
■委員 土屋 進（正）井戸清司（正）鈴木克政（民）稲葉正仁（輝）杉本一彦（元）

常任福祉文教委員会 ■委員長 横沢 勇（元） ■副委員長 佐山 正（正）
■委員 佐々木清（正）楠田一男（公）浅田良弘（民）三枝誠次（輝）掬川武義（無）

議会運営委員会 ■委員長 土屋 進（正） ■副委員長 楠田一男（公）
■委員 佐々木清（正）榎本元彦（正）四宮和彦（民）稲葉富士憲（輝）杉本一彦（元）

議会改革特別委員会 ■委員長 鈴木克政（民） ■副委員長 森 篤（無）
■委員 佐々木清（正）佐山 正（正）浜田修一郎（正）長沢 正（公）
四宮和彦（民）稲葉富士憲（輝）杉本一彦（元）重岡秀子（無）

※鳥居康子議長（公）は、総務委員会に所属していますが、申し合わせにより、委員活動を辞退しています。
会派略名：（正）正風改革クラブ（公）公明党（民）民主党・刷新の会（輝）輝21（元）伊東元気の会（無）会派に所属していない

閉会中の 議会活動



平成26年

※平成26年6月定例会閉会后、平成26年9月定例会開会まで

- 7月 8日 議会報編集委員会
- 8月 4日 議会改革特別委員会
- 5日 常任観光建設委員会協議会
- 25日 議会運営委員会

常任委員会だより

～常任委員会審査の中から～

◆詳細は、一二月下旬発行予定の九月定例会会議録の委員会審査報告をこらんください。

総務委員会

問

観光施設等に不法投棄されたごみの回収に関し何う。

答

所管の観光課と協議し、できるだけ早く撤去したい。

問

救急出動が多いことを踏まえ、救急車の適正利用に係る考えを伺う。

答

地域医療の体制の中で市民病院、保健所及び消防署が連携し、市民の協力が得られるよう進めていく。



救急車の適正利用をお願いします

観光建設委員会

問

伊東駅前駐車場の使用料金の改定について何う。

答

利用者の利便性の向上等を目的として、一回の利用につき二四時間ごとの最高限度額を一五〇〇円とした。



伊東駅前駐車場

問

小室山つつじ祭り開催時の交通渋滞対策を伺う。

答

緊急車両の通行の確保や、帰る車両への迂回等の対策を講じていきたい。

福祉文教委員会

問

子ども・子育て支援新制度の条例整備状況を伺う。

答

子ども・子育て会議における意見を反映させた。今後は、関係者への周知を図るとともに、子育て支援の環境整備をしていく。



子ども・子育て支援新制度

問

介護保険料の改定に関し、実施状況及び計画を伺う。

答

次期計画においても、介護保険事業の運営状況を注視しつつ、適正な保険料の設定に努めていく。

特別委員会

中間報告



議会改革特別委員会

議員定数案を併記で報告

八月四日委員会

議員定数の適正化に関し、ワーキンググループを設置し協議を進めており、同班長から、三度にわたる協議を経て、最終的に、現状の二二名が適当であるとする意見、二〇名が適当であるとする意見、一八名または一九名が適当であるとする意見の三通りの意見に収れんされたとする旨の報告がされた。

この報告を受け、委員長において、なお意見の一致を試みたが一致するに至らなかったため、最終結論は、右記の報告のとおり三論併記として協議を終了する旨を諮り、異議なく了承された。

なお、今後は、議員個々の考えに基づき対応することが確認された。

編集後記

豪雨や御嶽山の水蒸気噴火など、大自然の営みの前には、人間の営みなど小さいものかもしれません。

それでも、昭和二十二年一〇月一三日、伊東市議会に初代議長が誕生して以来、一七期にわたる歴史の中で、七一代にして初の女性議長が誕生したことは、新たな歴史を刻む大きな一歩であると思います。

(委員長)

議会報編集委員会

委員長 稲葉富士憲
副委員長 長 沢 正
委員 浜田修一郎
" 四 宮 和 彦
" 杉 本 一 彦

市議会に関するご意見

ご質問は議会事務局へ

伊東市大原二丁目一番一号
TEL (三三) 一九八一
FAX (三八) 六九一六

次期一二月定例会は一二月一日開会の予定です。